

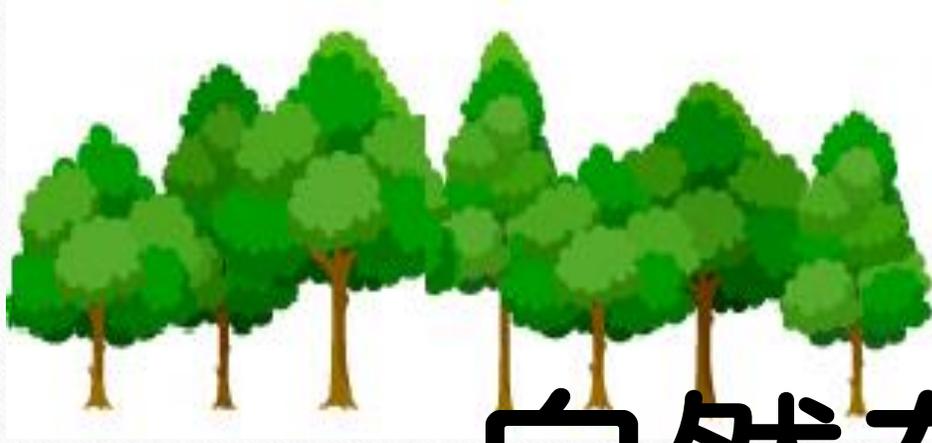
令和5年度 浜田養護学校
地域と連携協働した学習

中間報告

はま
よう



地域連携センター



自然を守ろう

(環境、資源、エネルギー、気候変動、生物多様性、海洋)

小学部の取組

[生活単元学習] 『にこにこプロジェクト③』
～使わなくなった油で石鹼をつくってピカピカにしよう～』 6/23(金)
小学部6年 [お魚のなかだ]

〈活動内容～地域の方とのかわり〉
*廃油を提供していただく。
*廃油石けんにリサイクルする。
*プレゼントする。



〈学んだこと〉

*リサイクル・・・使い終わったものを、
新しい何かに変身させること

*使った油は、石鹼に変身すること

*自分たちができるリサイクルは、分別

〈地域の方との活動の様子〉

*笑顔で挨拶をしたり、自分たちが作った石
鹼について身振りや言葉で伝えることがで
きました。

実習生とのお別れ会で、フライドポテトや揚げパンを作りました。



手順書を見ながら、安全に気をつけて石鹼作りを行いました。



作った石鹼で、調理台や洗面台などを掃除しました。



調理活動で使った油が、石鹼に変身することを知りました。地域のお店でも、捨ててしまう油がたくさんあることを知り、もらった油をリサイクルして石鹼にし、プレゼントすることにしました。



なかださんにプレゼントするために、手紙や説明書を作りました。

ひとりひとり、手紙や説明書、学校での活動の様子を伝え、なかださんにプレゼントしました。



なかださん
こんにちは。この間はあぶらをていきょうして下さりありがとうございました。もらったあぶらをリサイクルして、せっけんにへんしんさせたので、ぜひつかってください。ありがとうございました。
浜田養護学校
小学部六年生

はいゆせっけん せつめいしょ

はいゆせっけんが、とくいなそうじばしょ



はいゆせっけんが、かたかったら、



をいれて、まぜてください。



せっけんづくりのうかい

あぶら、えき、こすもまぜてつくりました



せっけんのかありのあうまをいれました



学校をびかびかにしました！

ちょうりだい、バケツ、ぞうきをそうじしました。



中学部の取組

生活単元学習 「地域の自然と環境」

中学部 1 年生



〔講師：唐鐘漁港 植田さん
まちづくりセンター浅見さん〕

6/9 (金) 28 (水) 7/11 (火)



〈活動内容〉

- *板わかめづくり体験
- *わかめ、漁師の仕事、海についてのインタビュー
- *わかめ料理をおしえてもらう

板わかめづくり体験

- *唐鐘漁港に行き、植田さんにわかめの収穫量やわかめ漁師の仕事、今と昔の海の変化について教えてもらいました。
- *実際に板わかめにできるわかめの説明を聞いた後、わかめを洗って、干すまでの作業を教わりながら体験させてもらいました。
- *事後学習では、植田さんのお話の中に出てきた「わかめの収穫量が減っている」「地球温暖化」をキーワードに、海の変化が自分の生活に関わっていることに気づいたり、自分が生活の中でできそうなことを考えたりしました。



板わかめ加工体験

*生徒が干したわかめを学校に持ってきていただき、袋詰め作業を体験させていただきました。お店で売られている板わかめとは見た目が違って、板わかめづくりの難しさを感じました。塩が浮いて白くなった部分を切り取る必要があることを知ったり、袋にきれいに詰めるコツを教えてもらったりしながら自分の板わかめを完成させました。



ビニールで包んでから
袋詰めするときれいに入ります。



茎の部分を
丁寧にカットしました。



袋の封も友だちや講師の先生と協力してできました。



わかめ料理

[講師: 民宿しまや 佐々木さん
まちづくりセンター浅見さん]



*体験の際に、板わかめにできないわかめは捨てられるとこと
を知り、「捨てられる食材を美味しく食べよう」ということで、自分
たちでレシピを調べてわかめパンとわかめパウンドケーキをつ
くりました。

*料理のプロの民宿しまやの佐々木さんに講師として来校して
いただき、わかめ料理を教えていただきました。教えてもらった
「わかめのきんぴら」「めかぶ」は、板わかめにできない硬くな
ったわかめでも歯ごたえを楽しめておいしく食べることができると
教えていただきました。

*単元のまとめでは、大量生産・消費、フードロスについて取り
上げ、自分の生活の中で気をつけられそうなことを考えました。



高等部の取組

『総合的な探究の時間・私たちの住む地域の自然環境を守ろう』

高等部1年 [しまね海洋館アクアス] 7月3日



▲写真やスライドを見ながら、海の生き物や海の中の海中林などについて話を聞く。

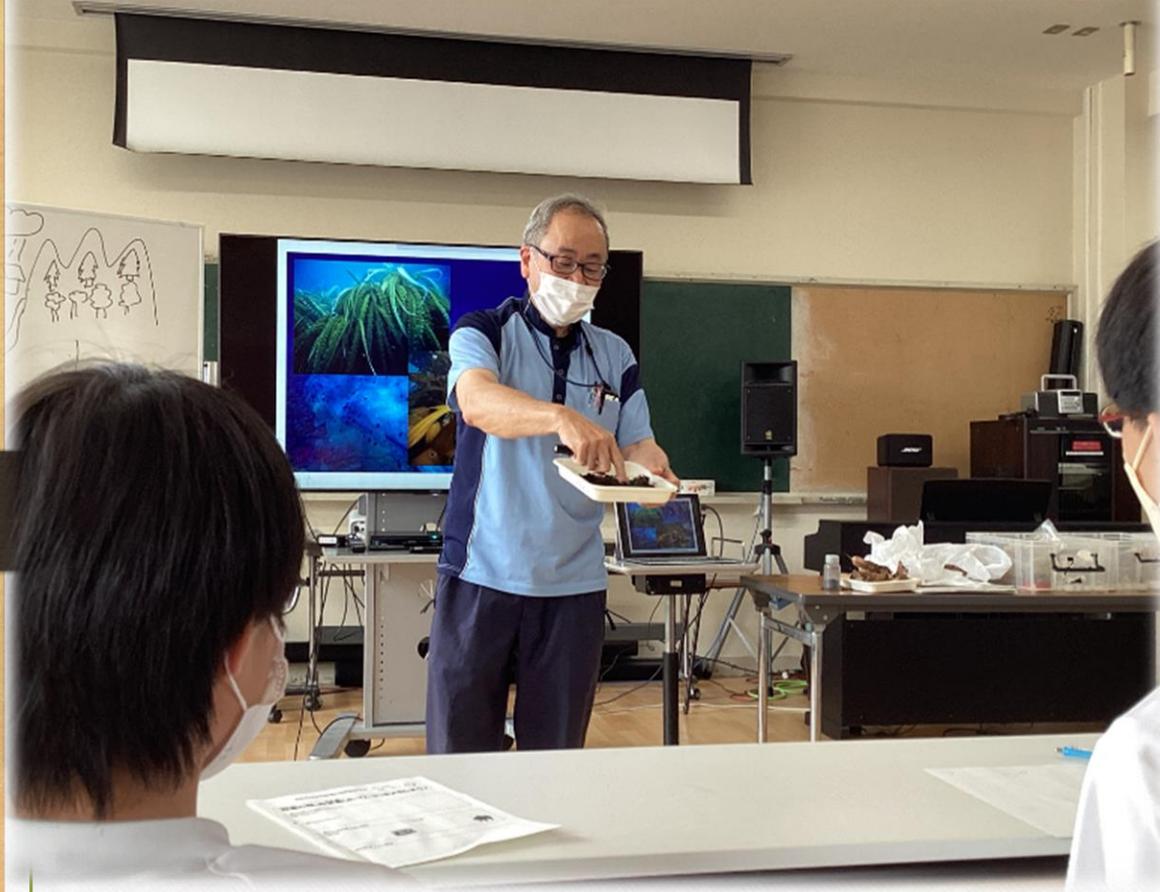
〈活動内容～地域の方とのかかわり〉

- * 自然環境：海の現状と課題を知る。
- * 地域で働く人を知る。

〈活動の様子～気づいたこと、学んだことなど〉

- * 海の中の環境問題について現状と原因について知ることができた。
- * 海と山には深い繋がりがあることを知りました。
- * 海の自然環境が守られていないと、海にも影響を及ぼすことが分かってきました。

◀海と山の繋がりについて話を聞く。森の腐葉土にあるスーパーX（フルボ酸）の役割について実物を見せてもらいながら学びました。



▶最後に生徒から感想とお礼の言葉を伝えました。





みんなが住みやすい 町にしよう

(人権、福祉、消費、防災、気候変動、
健康、平和、労働)

中学部の取組

[総合的な学習の時間] 『防災について知ろう』5/9.10.16

中学部全学年 [講師:唐鐘地区防災士 山本 稔さん]

〈活動内容～防災士さんの講話と体験学習〉

*防災の基礎知識と校内の防災設備など確認

*地域の防災組織の話と避難所体験

*学校周辺の防災設備や災害跡・危険箇所等の確認

〈活動の様子〉

*校内の防災設備の確認では昨年度の学習を基に積極的に防災士さんを案内して回り、使い方を知っておくことや前にものを置かないなどを教えてもらいました。

*避難スペース作りに、各学年ごとに意欲的に取り組み自然に助け合う姿が見られました。防災士さんの話を聞いて人との距離や過ごし方など、新たな学びがたくさんありました。

*実際に町を歩くことで土地の高低矢道の狭さを体感したり、過去の災害の爪痕を目の当たりにすることで、防災の大切さを実感することができました。

まさに「百聞は一見にしかず！！」の3日間の学習でした。





学年ごとに楽しく、協力してやりました

体育館で避難所体験 避難スペース作り・非常トイレ作り



山本さんの話を聞いてダンボールの敷き直し
距離をとろう、頭を中にしてねよう・・・などなど



町を歩いてみよう

危険な場所・狭い道・山の崩れた跡等



町の防災設備を見よう

消防団車庫・防災倉庫・スピーカー等

[総合的な学習の時間] 『地域の高齢者問題～ハッピーつながるG』

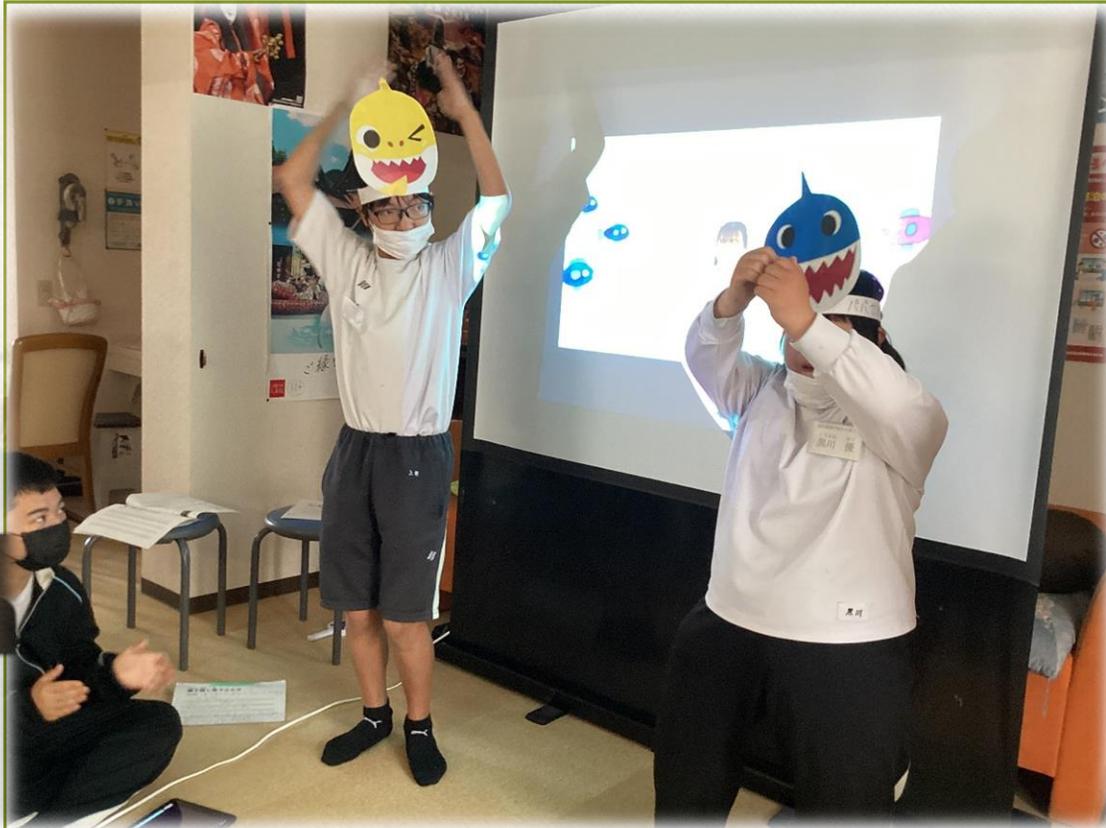
中学部3年生 [まちづくりセンター浅見さん、しまや高齢者サロンの方々]

5/23 (火) 6/7 (水)



- *まちづくりセンターに行き、浅見さんから地域の高齢者さんとのかかわりや取組についての話を聞く
- *高齢者サロンの訪問・交流

- *浅見さんといっしょにラベルワークを行い、地域の高齢者の生活や困っておられることのヒントをいただきました。
- *高齢者サロンとの交流を企画して実際に喜んでもらうことで達成感を味わうことができ、今後も地域に役立つことをしたいという意欲が高まりました。地域の力を感じた学習となり、高齢者の方、本校生徒それぞれに心に残る学習となりました。



交流会ではクイズや出しもの、座って
できる体操などをしました。

しまや高齢者サロンにて
最後にみなさんとで記念写真。



生活単元学習 中学部2年生

「地域のいいね伝えるンジャー」

[浜田市観光ボランティアガイド・県大生・浅見さん]

6/9 (金) 28 (水) 7/11 (火)

しらべよう

〈活動内容～地域の方とのかかわり〉

*自分たちが住んでいる地域のことを知る

(調べる・ガイドさんに教えてもらう)

*県大生に地域の特色や「いいね」を伝える

〈活動の様子〉

*「県大生が地域のことがわからなくてこまっているみたい！」生徒から「おしえてあげる」「紹介する」という意見がでて学習をスタートしました。

*はじめに、地域のことを知るために自分たちの住んでいる江津市と浜田市にわかれて、市の位置や地形の様子、文化財などを調べました。「うみ」「かぐら」など知っていることもあれば、はじめて知ったこともたくさんありました。

*地図作りでは、土地の高さを色分けしたり、線路を書いたり、Googleマップを使って場所を調べ施設を貼ったり、友だちと役割分担や協力をしながら取り組みました。



おしえてもらおう

〈 活動の様子 〉

*浜田市観光ボランティアガイドの方に案内してもらいました。それぞれの特色をていねいに教えてもらって、あたらしい発見がたくさんありました。

石見畳ヶ浦(国の天然記念物)
[江川さん]



歴史がある

いろいろな
地形・いきもの

石見国分寺跡(国指定文化財)
[辻野さん]



すごい

じゅんびしよう

〈 活動の様子 〉

*伝えように向けての準備では、グループで役割分担をしたり、一緒に考えたりしながら協力して原稿づくり、掲示物づくりなどに取り組みました。

*「伝えたい」という気持ちがどんどん高まって、「これも言おう」「〇〇しよう」とみんなが意欲的に取り組み、わかりやすい伝え方になるように工夫しました。



つたえよう

〈 活動の様子 〉

*江津市・浜田市、石見国分寺跡、石見畳ヶ浦の紹介をしたり、石見畳ヶ浦の案内（傘のためストリートビューや動画を使って）をしたりしました。学習をとおしてわかったこと、自分たちがいいねと思ったことをまとめ、いろいろな方法で伝えました。

*県大生に「〇〇がわかった。初めて知った。おもしろかった。発表がわかりやすかった。」などの感想をもらい、自分たちの頑張りを感じていました。

*学習後には、自分たちの市を「だいすき」と感じる生徒が増えていました。

市の紹介

案内マップ

石見国分寺跡の紹介 ～犬島・猫島の劇～

畳ヶ浦案内



高等部の取組

〔国語〕 『 絵手紙教室 』6月29日(木)

高等部 3年Aグループ [唐高会の皆様 : 5人]



〈活動内容～地域の方とのかかわり〉

*絵手紙の描き方について学ぶ

*余暇活動を広げる

〈活動の様子～気づいたこと、学んだことなど〉

*浜田で採れたアジやいかを題材として使うことで季節や地域を感じながら取り組むことができました。

*筆の使い方や、色の付け方など、学ぶことができました。

*相手を思いながら製作することの大切さを知ることができました。



形の取り方や、彩色のポイント
などを教えていただきました。





[生活単元学習] 『防災学習』 6月28日 7月5日
高等部1年生 連携・協力団体 浜田市の防災士さん4名
浜田市防災課



〈活動内容～地域の方とのかかわり〉

- * 災害の種類、避難の仕方を知る
- * 校内の防災設備、避難経路を確認する
- * 避難所体験
(トイレ・ベット・非常食・非常持ち出し品)

〈活動の様子～気づいたこと、学んだことなど〉

- * 避難所の生活について考えることができました。
- * 継続的に授業で取り組み、備えていくことが大切だということ学びました。



段ボールベッド・簡易ベッド・ダンボール
寝心地を比べてみました

[生活単元学習] 『福島ひまわり里親プロジェクト』
高等部1年1組 [国府まちづくりセンター(童懐会のみなさん)]



〈活動内容～地域の方とのかかわり〉
*地域の方に福島ひまわり里親プロジェクトについて知ってもらい協力してほしい
(苗を育ててもらい、種を提供してほしい。)



〈活動の様子～気づいたこと、学んだことなど〉
*種まき、植え替えなどだれかにお願いして育ててもらうことを意識して手入れをすることができました。
*たくさんの方が苗を持ち帰ってくださったことがうれしく活動のはげみとなりました。

私たちも学校で ひまわりを育てました！

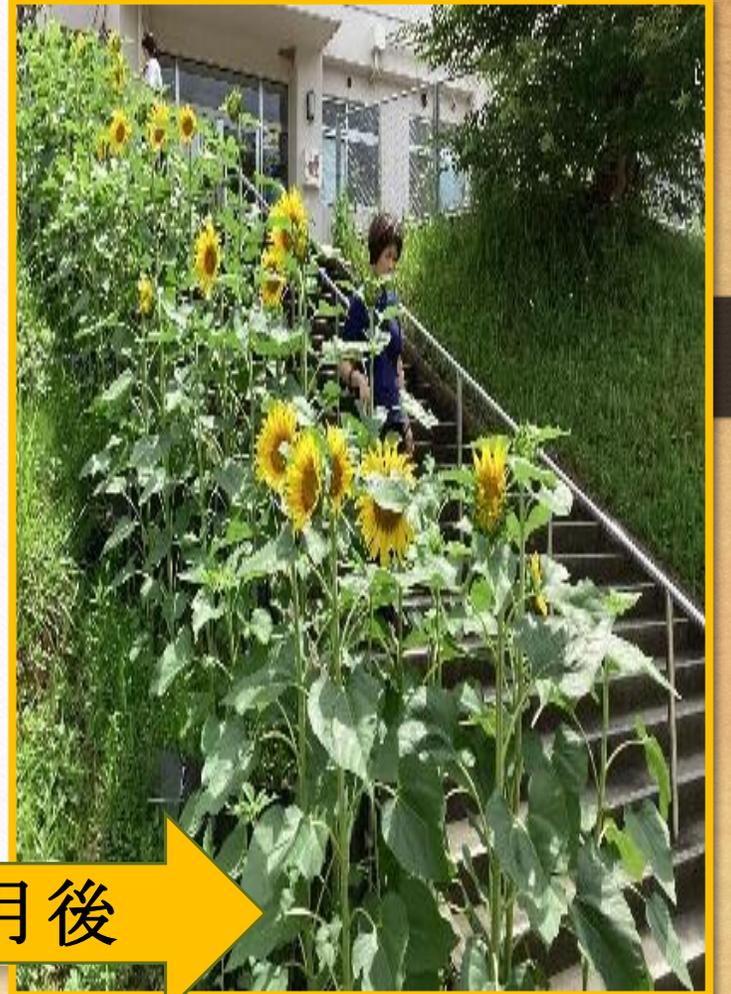


2週間後

5月1日種を植えました！



2ヵ月後



〔作業学習〕 『アカモク加工』 6月20日
高等部 水産班 [沖田さん 安武さん]

〈活動内容～地域の方とのかかわり〉

- *アカモクを洗う
- *アカモクを切る
- *アカモクをゆでる

〈活動の様子～気づいたこと、学んだことなど〉

- *沖田さん・安武さんに意欲的に質問ができました。
- *初めての人の慣れない生徒もいましたが、沖田さん安武さんが丁寧に優しく指導してくださり、生徒みんなが参加できました。



沖田さんに洗い方を教えていただきました。



安武さんに切り方を教えていただきました。



サッと茹でます



試食もしました。おいしかったです。



[作業学習] 『 Fishはまよう 』7月7日(金)
高等部 水産班 [国府まちづくりセンター]



〈活動内容～地域の方とのかかわり〉

- * お客様に喜んでいただく
- * 正しい接客マナーを学ぶ
- * 水産班の活動を知っていただく

〈活動の様子～気づいたこと、学んだことなど〉

- * 意欲的に声出しができました。
- * 丁寧に接客ができました。
- * 30名のお客様に来ていただきました。
- * お客様に来ていただけて嬉しかったです。

それぞれの係の仕事に責任をもって取組ました



地域の方に沢山来ていただきました



呼び込みも大きな声でしっかりやりました



カゴの消毒も丁寧にしました



[生活単元学習]

『浜田産の食材を使ってオリジナル料理をつくろう』7月6・12日
高学部 2年1・2組 [女性ボランティアさん]



〈活動内容～地域の方とのかかわり〉

- *浜田産の食材や調理方法について助言をいただき、レシピをまとめる
- *調理活動をいっしょに行い、食材の扱い方や調理方法を知る

〈活動の様子～気づいたこと、学んだことなど〉

- *友達と役割分担しながら、協力して調理活動をすることができました。
- *アドバイスをいただくことで、適切に道具を使いながら、手順に沿って調理活動をすることができました。
- *浜田産の食材を知ることができました。

女性ボランティアの方にアドバイスをいただきながら、オリジナル料理のレシピを考え、ワークシートにまとめました。





調理方法や食材の扱い方を教えていただき、友達と協力してオリジナル料理が完成しました。

赤天ぎょうざ

アジフライバーガー

フルーツサンド

スイートポテト



[総合的な探求の時間]『地域おたすけ隊パート2』7月10・19日

高等部3年生 [連携・協力団体 市役所・社協・警察・まちづくりセンター]



〈活動内容～地域の方とのかかわり〉

***社協・警察・まちづくりセンターの活動の調査をする。**

***市役所の方に浜田市の高齢化社会について聞く。**

〈活動の様子～気づいたこと、学んだことなど〉

***浜田市内の高齢者に関わる仕事を知ることができました。**

***これから、自分たちが地域のためにできそうなことを考えることができました。**

警察署



まちづくりセンター



伝統文化を受け継ごう



(地域の文化財
～石見神楽、郷土料理、
方言、茶道華道、
石州瓦、石州和紙)

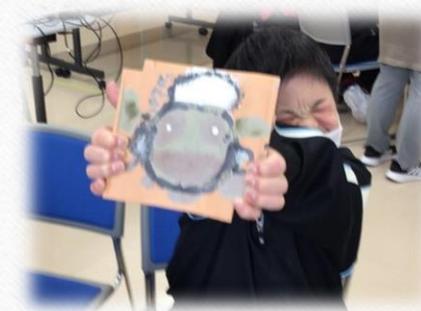
伝統文化～2学期以降の実践

小学部 生活単元学習

- ・小3組 9/11 19「神楽をしよう」
- ・小4組 2/9 「神楽で交流しよう」

中学部 美術

- ・中全 1/11 「神楽面を作ろう」
- ・中全 9/14 12/14 「石州瓦に絵付けをしよう」



伝統文化～2学期以降の実践

高等部 生活単元学習

- ・高等部1年 「石州和紙について知ろう」



- ・高等部3年 「郷土料理を作ろう」

ボッチャ体験会

8.5 体育館

島根県立浜田養護学校主催事業

Boccia

2023
8/5

集え、
ボッチャ体験会。

要予約!
定員
35名

日時 2023.8.5(土)
10:00-12:30

会場 島根県立浜田養護学校
(浜田市磯分町 342-2)

お申し込み **参加無料**
左記の「QRコード」もしくは、「電話」にて受け付けています。
お気軽にお問い合わせください。
☎: 0855-28-2200 (担当: 岸)

東京パラリンピックの正式競技にもなった「ボッチャ」を体験しよう!

ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ3球ずつのボールを投げたり、蹴ったり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。初めてでも、誰でも楽しめるスポーツです!!

ボッチャに興味のある方も初めての方も

地域の方も

主催: 島根県立浜田養護学校
TEL (0855) 28-2200 FAX (0855) 28-2201 E-mail: hamadayogo@pref.shimane.lg.jp.



校外から34名の参加がありました。

講師の先生からルールやボールの投げ方を教わり4コートに分かれてゲームをしました。





スーパープレイの続出!! どちらの球がジャックボールに近いか、微妙な判定に、講師の先生たちもいろいろなコートに呼ばれて大忙しでした。



ゲームするうちに、参加した皆さんの表情も笑顔いっぱい、どのコートからも歓声が響いていました。



参加者のみなさんが“たのしかったです!!”と口々に言って帰って行かれました。ボッチャが通して、いろいろなふれあいやかかわりが生まれた体験会でした。